

この広報紙は再生紙を使い、議員の自主編集で発行しています。



～ 久慈市議会との友好交流協定を締結 ～

岩手県久慈市と当町は「歴史文化で結ぶ友好協定」を締結するなど、両自治体の関係を発展させ、活性化に向け取り組んできました。議会レベルでも交流を深め、様々な活動に取り組むため、久慈市議会と当町議会との友好交流協定を締結しました。

(写真は協定締結書を手に握手をする^{はまかけあきひろ}濱欠明宏久慈市議会議長(左)と神孝町議会議長(右))

※内容は、10ページに載せています。

令和6年1月18日

12月
定例会号

第4回定例会、令和6年第1回臨時会

2～3

一般質問(3人が傍聴)

4～7

議会活動、議会開催状況

8～9

久慈市議会との友好交流協定締結

10



令和5年
第4回
定例会

会期
12月8日～13日

物価高騰対応重点支援事業 実施へ補正予算案可決

令和5年第4回定例会が12月8日から13日までの日程で開かれました。本定例会には、議案等14件、報告1件、意見書案1件が上程されました。12日の一般質問では、議員4名があじバスの運行について、高校生通学補助事業について、熊の被害対策について、子育て家庭への物価高騰対策支援についてなどを町政へ問いました（質問内容は4～7ページに掲載されています）。最終日には、本会議において審議の結果、全て原案どおり議決されました。主な議案等は次のとおりとなっています。

▼条例の制定 **可決**

下水道事業の設置等に関する条例の制定

下水道事業の地方公営企業法適用に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

町公共下水道事業、町農業集落排水事業について、地方公営企業法の財務規定等を適用し、公営企業会計を導入することに関し、必要な事項を定め、関係条例の整備を行うためのもの。
令和6年4月1日施行

▼条例の一部改正 **可決**

消防団条例の改正

高齢化が進展している



令和6年消防団出初式の様子

町公共下水道事業、町農業集落排水事業について、地方公営企業法の財務規定等を適用し、公営企業会計を導入することに関し、必要な事項を定め、関係条例の整備を行うためのもの。

一般職の職員の給与に関する条例等の改正

10月6日付、青森県人事委員会からの職員の給与

与等に関する報告及び報告に基づき、職員の給料月額並びに期末手当及び勤労手当の支給割合を改定し、会計年度任用職員に勤労手当を支給するため関係条例の整備を行うためのもの。

【主な改正内容】

○一般職の職員の給与に関する条例

- ・給料表の改定（初任給をはじめ若年層に重点をおいた給料引上げ）
- ・期末・勤労手当の支給割合改定（令和5年12月期の支給割合を期末手当、勤労手当それぞれ0.05月分引上げ）
- ・会計年度任用職員に勤労手当を支給するための改正

ほか

▼専決処分
令和5年度一般会計補正予算 **承認**

○専決第4号

物価高騰対策費及び県子ども・子育て世帯応援金給付事業費に急施を要する予算措置。
歳入・歳出それぞれ6057万円増額し、補正後の予算総額は93億4314万円とする。

【主な歳出補正予算】

○減額
・物価高騰対策費（使用制限1月31日までの商品券発行分）
4450万円

○増額
・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金
1億4175万円

【主な歳入補正予算】

○増額
・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金
1億4175万円

○減額
・災害等廃棄物処理事業費補助金
6728万6000円

【主な歳出補正予算】

○増額
・物価高騰対応重点支援事業費
1億4175万円

○減額
・災害廃棄物処理費
1億4256万円



支給された商品券の周知ポスター

・県子ども・子育て世帯応援金給付事業費
1607万円

総括質疑のようす



されたので遡って改正することだと理解しておりますが、回答をお願いします。

【答】（小野総合窓口課長）仰るとおりです。今後このようなことがないように事務作業を進めたいと考えています。大変申し訳ありません。

第4回定例会総括質疑の内容を一部抜粋してお知らせします。

【国民健康保険税条例の改正内容について】

（佐藤薫議員）今回の改正において、改正後の第21条第2項の規定は令和4年4月1日から適用となっております。国民健康保険税の減額について定めたもので、誤った規定のまま条例が議会に提出され、今回誤りが発見



【意見】（佐藤薫議員）総合行政システムを請負している業者との調整、監査委員から決算審査で指摘があるようにチェック機能の強化を要望して終わります。

第1回臨時会
1月26日

令和6年1月26日、西北五環境整備事務組合の選任を行ったほか、議案4件、報告1件、議事1件について審議を行い、全会一致で議決されました。主な議案は次のとおりとなります。

▼工事請負契約の締結

【可決】

【工事名】

- ・4災第138号赤石溪流線道路災害復旧工事
- ・4災第141号赤石溪流線道路災害復旧工事

【工事概要】

令和4年8月の大雨による赤石溪流線道路災害の復旧延長、大型ブロック積工、小口止コンクリー



ト、舗装復旧工、土砂流補足工、逆丁型擁壁、補強盛土工、ガードレール等

【仮契約日】

令和6年1月22日

【契約金額】

9559万円
9097万円

【契約の相手方】

株式会社 ストヨネ

▼西北五環境整備事務組合議会議員の選任

1月1日から、西北五環境整備事務組合の構成市町に加わったため、組合議会議員に、佐藤薫議員、須藤一議員が指名推選されました。

鯉ヶ沢町議会議員一般選挙

任期満了に伴う鯉ヶ沢町議会議員一般選挙が3月19日（火）告示、24日（日）投票の日程で行われます。定数は11人となっております。

◆期日前投票・不在者投票

・期間

3月20日（水）から
3月23日（土）まで

・時間

午前8時30分から
午後8時まで

・場所

町役場

1階町民ホール

◆問い合わせ先

町選挙管理委員会事務局

☎72-2111

内線326へお問い合わせください。

※詳しくは、チラシ、防災無線等でお知らせします。

投票日は3月24日（日）



齋藤 孝夫議員

あじバスの運行について

問・異常気象が常態化する近年、夏の暑さや冬の寒波が厳しさを増す中、徒歩で通学している児童の通学手段の確保のため、あじバスでの通学を検討できないか。



答弁・清野学校教育課長

児童の通学は徒歩を基本としていますが、おおむね4km以上の距離がある場合は、あじバスの利用を認めています。

12月定例会では、4名の議員が質問しました。一般質問では町の行財政全般に関し町長の考えや、町の施政方針を問います。

児童の通学手段としてあじバスを検討できないか 答へ気象状況、児童数の減少等を鑑み検討する

◆舞戸公民館のエレベーターについて

また、猿や熊の出没等により、児童の安全確保が必要な場合は学校と協議し、あじバスの利用を認めたり、一定期間公用車による送迎を実施したりしています。

問・近年、情勢が変わっている中で、4kmという距離の基準は一度見直す時期ではないかと思うがどのように考えるか。

答弁・阿彦正弘教育長

今後、気象状況、児童数の減少などの変化を鑑みながら、検討してまいります。

※齋藤議員は、このほかにも次のような質問をしています。

◆舞戸公民館のエレベーターについて

問 昨年8月の豪雨災害で水没し利用できなくなっている舞戸公民館のエレベーターは、いつ頃から稼働できる見込みか。

答 10月31日、11月1日に災害査定が終了しましたので、令和6年度の日も早い完成を目指し事業を実施してまいります。

◆ごみの収集について

問 10月からごみの分別方法が変わり、資源ごみの量が増えてくるようだが、収集を週1回に増やすことはできないか。

答 10月から分別方法が変わり、収集量に大きく変化がありました。このため、令和6年1月から、

◆鳥獣被害について

問 今年は何年になく農作物の被害が多く、熊による人的被害も出ました。来以降、農家が安心して農作業ができるよう対策を考えているか伺います。

答 今年、熊の捕獲数がこれまでで最も多く42頭となり、箱わなの数が不足したため、来年度は箱わなを追加購入して対応したいと考えています。鳥などの被害に対しても対策を考えていきます。

まいります。

問 猟友会の話では、熊の駆除に経費もかかるというのですが、町で予算を確保していくことはできないか。

答 来年度は、箱わなを増やすということと、猟友会の皆さんの鉄砲の銃弾等の負担や時間外の出動などもありますので、様々な課題についてしっかりと対応してまいります。

◆漁業振興策等について

問 漁獲量の激減、船の燃料費高騰等漁業の厳しい状況に支援はできないか。

答 漁業者への支援については、漁法ごとの経営安定資金の給付や資機材購入費の補助、漁船燃料費の実費補助を実施し、また漁協に対して漁協施設の設備費改修費の補助や稚魚放流事業に対する助成を実施しています。今後も燃料費高騰など経営に影響がある事態に対しては、漁業者や漁協と協議の上、支援を検討して

問 今年は何年になく川の上流も海での捕獲数も少ないため、町では、県に對しだけの増殖事業の体制強化の要望や漁協のさけふ化事業が経営維持できるように補助を実施しています。

答 近年は、川のさけ遡上数も海での捕獲数も少ないため、町では、県に對しだけの増殖事業の体制強化の要望や漁協のさけふ化事業が経営維持できるように補助を実施しています。

問 漁業は町の基幹産業でもあります。苦しい時期ですので、行政が先頭に立って漁業を守っていただきたいと思えますが町長の考えを伺います。

答 漁業は、コロナ、漁獲低迷、資材高騰、また今般のハタハタ、ヤリイカの不漁が続く、非常に厳しい状況が続いています。今後、引き続き魚の放流事業や漁協施設、設備への支援など実施してまいります。



佐藤 薫議員

高校生通学費補助 事業について



問・修学における経済的負担の軽減を図るため、町内に在住し通学する生徒の保護者に対して、通学費の補助を実施すべきと考えるが、町の考えを伺います。

答弁・清野学校教育課長
青森県内では、公立高校の閉校に伴い、地元で高校が無くなった自治体が、子育て世帯の負担軽減や教育環境の充実等を目的に、公共交通機関等

高校生を持つ保護者に通学費を補助できないか 答へ今後の課題として検討していく

を利用して通学する高校生を対象としてその費用の一部を助成している自治体があります。

当町では、地域校に指定されている鱈ヶ沢高校存続のため、町と鱈ヶ沢高校、関係機関等が一体となって活性化対策に取り組んでいるところですが、その支援策の一つとして、鱈ヶ沢高校へ町外から通学する生徒を対象に通学費の支援を行っています。

町内に住む鱈ヶ沢高校以外の高校に通学する生徒の保護者に対する通学費の助成については、今後の課題として、県や近隣市町村の動向を見極めながら検討してまいります。

問・鱈ヶ沢高校に町外から通う生徒には助成して

いるとのこと。物価高も続いており、将来を担う人材の育成に資する観点から、修学における経済的負担の軽減を図るため、定期券購入費用の半額程度の助成について前向きに検討できないか。

問・助成を実施した場合に対象となる生徒数と、半額を助成した場合に町が負担する額を伺います。

答弁・清野学校教育課長
現在、町外に通学している高校生は149名です。

仮に6か月定期を購入した場合では年額1300万円程度の定期代となり、この半額を助成した場合には、町の負担は600万円から700万円程度となる見込みです。

意見・財政的な問題もありますが、ぜひ前向きな検討をお願いします。

※佐藤議員は、このほかにも次のような質問をしています。



送りの車で混み合う駅前のような様子

答弁・平田衛町長
子育て世帯が非常に厳しい状況にあるということとは十分承知しているところです。ご提案の件について、これから検討したいと思っております。

◆高齢者補聴器購入費助成事業の実施について

円加齢による聴力機能の低下は、認知症の発症要因の一つともされ、補聴器の活用を進めることはとても大切ですが、補聴器が高額なことから、購入が困難な高齢者のため、全国的には助成制度を設けている市町村が増えてきました。

当町でも助成事業を実施すべきと思うが、町の考えを伺います。

答町では、これまでも認知症フォーラムや認知症カフェ等を実施し、認知症予防に努めています。難聴は、聞こえの悪さからコミュニケーション不足になり、閉じこもりがちになって地域社会からの孤立を招き、フレイルや認知症が進んでしまうという点に着目し、治療の一環として早い段階から補聴器を着けることが認知症予防やフレイル予防に効果があるのでは

ないかと考えています。

現在の補聴器購入助成制度では、高度・重度難聴の方（障害手帳6級以上）は補装具支給制度で助成を受けられますが、軽度・中等度難聴の方が補助を受けられる県の補助事業では、対象年齢が18歳までに限られているため、県や近隣市町村の動向を踏まえ、軽度・中等度難聴の方への補聴器購入費の助成について検討してまいります。

意見・高齢になっても生活の質を落とさず、心身ともに健やかに過ごすことはとても大切なことです。

補聴器購入費の助成について前向きな検討をお願いいたします。

※フレイル：
加齢によって心身が衰えた状態のこと。



菊谷 忠光議員

住宅街への熊の侵入を防ぐ対策は 答へ 荒廃した農地や山林の整備を行うことが必要

熊の被害対策について

問・今年是全国的に熊の出没が多発し、当町でも人的被害や農作物の被害が発生したが、住宅街への熊の侵入を防ぐ方法について対策を伺います。

このうち約半数は住宅地又は住宅地に近い場所での目撃でした。

熊が突然現れる原因としては、近年の人口減少

による人けの無さや農地、山林の放置による荒廃などが考えられ、土地所有者の協力を得ながら、広範囲にわたる荒廃した土地の整備を行うことが必要と考えています。

また、熊は食べ物を求め住宅地へ迷い込み、野菜や果物を食べに来ることが考えられるため、熊を寄り付かせないように、住民に対し食べ物を放置しないよう協力を求めまいります。

答弁・千島農林水産課長
当町における今年度の熊の目撃情報は61件で、これまでにはない多さとなりました。

なお、全国的な熊による被害の多発を受け、県では被害防止対策研修会を開催することとしていますので、こうした研修

会への参加や情報収集、被害防止対策に係る知識及び技術の習得にも努めてまいります。

問・熊を住宅地へ寄せ付けないための電気柵の設置や遭遇した場合に備えた熊撃退用具、花火のレンタル等はできないか伺います。

答弁・千島農林水産課長

電気柵の設置に係る経費の助成については、引き続き実施してまいります。

花火についても無料配布をしておりますので、熊を遠ざけるための事前防止として使っていただくと思います。

熊を撃退するための道具のレンタルについては、熊と対峙することは危険ですので、こうした助成



鳥獣除けに無料配布されている花火

制度を活用した電気柵による防護や熊を近づけないための対策を推奨してまいります。

問・ドローンで音を出し、熊の追い払い、生態調査に使っている自治体がありますが、こうした対策についてどのように考えているか伺います。

答弁・千島農林水産課長
ドローンによる追い払いはまだ実証実験段階のようですが、最新情報を収集し、効果等について

検証してまいります。

問・熊の駆除以外に、山と住宅地の間に緩衝地帯を設けて、住宅地に熊を寄せ付けないという対策についてどのように考えるか。

答弁・千島農林水産課長
緩衝地帯を設け、住宅地への熊の出没を防ぐため、遊休農地の発生防止や森林の適正管理など、農林政策として取り組んでいることを継続し、住宅地の周りに熊が潜みやすいエリアを造らないような対策を講じてまいります。

意見・熊による町民の生命、身体に危険が及ぶことのないよう、対策を考えていただきたいと思います。

※菊谷議員は、このほかにも次のような質問をしています。

◆公共施設の利活用について

現在時点で検討している日本海拠点館の今後の利活用方法を伺います。

答日本海拠点館は、現在1階の冬の広場、夏の広場、2階の図書コーナー、多目的フロアを使用することができま

す。令和4年度に冬の広場のエアコンやマルチビジョンを整備しましたので、今年度は、展示会や講演会、講習会の会場利用が増え、読書関係の読み聞かせや紙芝居、音楽関係の発表会やミニコンサートなどの自主事業も数多く実施できています。

令和6年度以降も各種事業の内容充実を図り、日本海拠点館の利用者、来館者を増やしたいと思いますと考えています。



東條 一彦議員

子育て家庭への物価高騰対策支援が必要なのは 答へ全町民を対象に商品券の配布事業を実施

子育て家庭への物価高騰対策支援について

問・昨今の物価高は、子育て家庭においては深刻な問題であると思えます。

町独自の支援策を考えているのか伺います。



答弁・一戸ほけん福祉課長

子育て世帯への支援については、国の事業として低所得者世帯やひとり

親世帯に対し、子ども一人当たり5万円を2回支給しています。

また、県では現在、県内全ての子どもに対し、一人当たり3万円を支給する事業が進められており、当町では12月中に完了する見込みです。

このように国、県では給付金制度を実施しているところですが、当町では子育て世帯に限らず、物価高対策として全町民に一人当たり1万1千円の商品券を配付する事業を実施していますので、子育て世帯に限った町独自の支援策は、検討しておりません。

問・現在、国や県から盛んに子育て家庭への支援や物価高対策費として交付金が町に配分されていると思いますが、交付金

の配分が無くなればその事業ができないことになると思います。

町の単独事業として、子育て家庭への支援策は必要だと思いが、町の考えを伺います。

答弁・一戸ほけん福祉課長

町ではこれまで、単独事業として乳幼児のおむつ支給や中学生までの医療費の助成制度などを実施しています。今後、他町村等の助成状況を情報収集し、子育て世帯への支援策の充実を図ってまいります。

意見・他町村では子育てに特化した事業を大分行っているようです。

人口減少対策や若い人の定住事業などの観点からも支援は必要だと思

ますので、早めの検討、そして実施をお願いします。

◆町防災訓練について

問10月に昨年並みの大雨災害を想定した町防災訓練が行われましたが、職員への指示系統や避難経路、避難所の環境等、改善すべきところはあったか伺います。

答今年度の町防災訓練は、昨年8月の豪雨災害を想定し、同じような災害が起きた場合に備えた避難訓練や避難所開設の手順確認、災害発生時の避難行動の確認や避難所への避難者受入に万全を期すことを目的に10月28日に実施しました。

主な内容は、舞戸小学



防災訓練時の避難所受入れのようす（左）と災害対策本部（右）



校と山村開発センターに避難所を開設し、高齢者等避難から避難指示へと段階的な避難の発令による避難訓練のほか、避難所での受付や物資の支給、住民による避難所運営、また災害対策本部からの情報伝達、物資の運搬、避難所での初期対応等の訓練を実施しました。

とった情報収集のため、テレビの設置をはじめ、情報伝達のためのホワイボードの活用等々、災害時の教訓を活かした内容としており、訓練全般では、概ね問題はなかったものと思われま

問防災訓練の時期を見直す考えはないか。

答時期については、町民が参加しやすい時期、例えば日本海中部地震が発生した日に近い時期に地震防災訓練を実施するなど、検討してまいります。問ひとり暮らしの高齢者の避難対応について伺います。

答高齢者の方に関しては、早めの避難行動を呼びかけるとともに、実際の避難行動については町内会や町社会福祉協議会、町の担当課などと連携し速やかに避難できるように体制をとってまいります。

全国大会
視察研修

町村議会議長全国大会 西北津軽郡町議会議長会視察研修

11月27日から29日まで町村議会議長全国大会、西北津軽郡町議会議長会の視察研修（東京ほか）が行われ、神孝議長が参加しました。

【第67回町村議会
議長全国大会】

11月29日、NHKホール（東京都）において、町村議会議長全国大会が開催されました。

大会では、はじめに「議会の機能強化及び多様な人材が参画するための環境整備」など要望37件が大会に提案され、説明があり、満場一致で決定しました。

次に採択された要望事項を踏まえ、緊急かつ重要な課題として解決を図



参加した西北津軽郡町議会議長



町村議会議長全国大会のようす

る必要がある「東日本大震災からの復興、原子力発電所事故への対応及び大規模災害対策の確立等を求める特別決議」、「少子化対策の推進とこども・子育て政策の強化を求める特別決議」及び「農業・農村政策の一体的な推進による食料安全保障の確立を求める特別決議」について提案され、満場一致で決定されました。

大会終了後は、フリーキャスター・事業創造大

学院大学客員教授の伊藤聡子氏による「地域から輝く日本へ〜未来への選択と責任」と題した講演がありました。

【県選出国会議員との
懇談会】



県選出国会議員との記念撮影

11月28日、全国町村会館（東京都）において、青森県町村議会議長会主催の県選出国会議員との懇談会が行われました。会では町村議長が、国会議員にそれぞれ町村の現状等について話していました。

知事を囲む行政懇談会

11月15日、ホテル青森（青森市）において、知事を囲む行政懇談会が行われ、町議会から神孝議長が出席しました。

懇談会では西北津軽郡町議会議長を代表し、板柳町議会佐藤洋治議長が津軽港を活用した農産物の輸出について「西北地域の地域特性・流通経路を生かして、りんごや米などの農産物を津軽港に集積し、地元の農産物を



知事を囲む行政懇談会のようす

地元の港から輸出することができるような体制を構築できないか、津軽でとれた農産物を津軽から世界へを指すべく、津軽港の機能強化について、県においても特段のご配慮をお願いしたい」と要望を行い、宮下宗一郎県知事が、「物流2024年問題でトラックドライバーの時間制限がされるといふことで、交通モードを他に転換しなければならぬ。また、洋上風力もO&M港（オペレーションメンテナス港）としての利活用など津軽港はチャンスが広がっています。新たな利用促進については、津軽港利用促進協議会と連携を図りながら、県としてもポートセールスも含め対応していきたいと考えています」と回答しました。

◇令和5年議会 開催状況◇

	開催時期	本会議 日数	一般質問した 議員数	傍聴者数 (全日数)
臨時会	第1回 (1月23日)	1日	—	3人
定例会	第1回 (3月議会)	4日	2人	4人
	第2回 (6月議会)	3日	3人	10人
	第3回 (9月議会)	4日	3人	3人
	第4回 (12月議会)	3日	4人	3人

全国過疎地域連盟 第56回総会



11月13日、日本教
育会館（東京都）に
おいて、一般社団法
人全国過疎地域連盟
第56回総会が行わ
れ、神孝議長が出席
しました。
総会では、役員の
選任が行われ、令和
6年度過疎対策関係
予算・施策に関する
決議・要望について
満場一致で決定され
ました。

4年の活動を終えて 議会広報編集委員会



左から須藤一委員、菊谷忠光委員長、今勝義委員

議会広報編集委員会と
して4年の活動が、今回
の議会広報発行で満了と
なります。
町民に開かれた議会を
目指し、議会傍聴に來ら
れない方のためにも、広
報紙を通して、町が行っ
ていることに対する質疑
等、議会で審議されたこ
とを解りやすく伝わるよ
う、編集を心掛けてきま
した。

特集記事では、町内の
個人、会社、団体などを
取材し、日頃知ることの
できない取組みや活動に
触れ、町の良い部分を改
めて感ずることができま
した。
議会広報紙について
は、まだまだ改善点が多
いとは思いますが、今後
とも手に取り、是非ご覧
ください。
4年間有難うございま
した。

〈議会広報編集委員長

菊谷 忠光〉

令和6年第1回定例会の予定

議会日程は、議会運営委員会において正式に決定されます。

開会中は町役場1階町民ホールモニターに、議会の様子が流れています。

開催日程、一般質問の議員氏名、質問事項については町防災無線、町ホームページでお知らせします。

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

▼2月22日（木）

開会予定です

《開会後の日程は

次のとおりです》

▽3月4日（月）

一般質問

▽3月5日（火）

総括質疑

各常任委員会

予算特別委員会

▽3月6日（水）

討論、採決、閉会

久慈市議会・鱒ヶ沢町議会 友好交流協定を締結

岩手県久慈市と当町は、津軽藩の始祖となった「大浦光信公」が久慈出身という縁から、歴史文化における交流を中心に「歴史文化で結ぶ友好協定」を締結するなど、災害時支援や観光、産業などにおいても連携を深め、両自治体の関係を発展させ、活性化に向け取り組んできました。

令和4年8月、当町の豪雨災害時には、久慈市、久慈市議会から支援をいただき、令和5年6月に当町議会が久慈市議会を訪問し支援に対するお礼を兼ねた、復興状況の報告をしました。

令和6年1月18日、議会レベルでも交流を深め様々な活動に取り組むため、久慈市議会議員、当町議会議員18名が立会い「友好交流協定」の締結式が行われました。協定式の後、町総括学芸員による久慈市と当町とのつながりに関する記念講演、意見交換会などが行われました。



記念盾を交換する濱久久慈市議会議長（左）と神議長（右）



来賓の挨拶をする平田衛町長



中田書矢町総括学芸員による
久慈市と当町とのつながりについての記念講演



久慈市議会議員と当町議会議員との意見交換会